



建交労

2021年夏季闘争推進ニュース

パワーアップ試験、勤通大、わくわく講座 学習を力にして確信をもって活動を広げよう

建交労は、学習・教育活動の柱に「パワーアップ試験、勤通大、わくわく講座」の受講を位置づけています。長期化するコロナ禍で国民の多くが不安を寄せ、医療機関が苦闘し、町の飲食店は経営が大きく傾いているにもかかわらず、菅政権や東京都がオリンピック開催を強行し、病院を減らし、病床削減を促進しています。

最近まで五輪中止・反対の声が世論調査でも過半数いましたが、7/4 投開票の都議選では、投票率は約43%です。都民の有権者は1,146万人（過去最高）となっていますが、前回比で95万人が棄権しています。実は2020年度だけで東京都はオリンピック関連で約3千億円も予算化しています。そしてコロナ感染拡大は、専門家の試算でも2千人/日に達する可能性があります。国民・都民の命よりも五輪開催を優先し、有観客を強行しようとする政府は今もなお食い下がっています。

このデタラメな政治や社会の在り方になぜ怒りの声が集まり、間近な選挙で投票に行かないのか、おおもとは政治や社会のしくみをとらえる力が不足しており、メディアや周囲の行動に惑わされ、諦めている方が大勢いるからです。

わたしたちは学習活動を通して、社会の現実としくみをとらえ、自らの要求を実現や課題を乗り越え、あるいは変える展望と確信を身に着け、実践することができます。現状をあきらめない生き方を選択し、仲間と共に自らの要求を実現する場所が労働組合です。パワーアップ試験の受講者はまだ、6県本部（7支部）、27人にとどまっています。今月末が受講締め切りです。各組織で各種学習のとりくみを位置づけて、受講申し込みを実施して下さい。

県本部	受験者	解答提出	県本部	受験者	解答提出	県本部	受験者	解答提出
北海道			17 富山			33 岡山		
青森			18 石川			34 広島		
岩手			19 福井			35 山口		
宮城			20 長野			36 徳島		
秋田			21 岐阜	14		37 香川		
山形			22 静岡			38 愛媛		
福島			23 愛知	1		39 高知		
茨城			24 三重			40 福岡	1	
栃木			25 滋賀			41 佐賀	8	
群馬			26 京都			42 長崎		
埼玉			27 大阪	1		43 熊本		
千葉			28 兵庫			44 大分		
東京			29 奈良			45 宮崎		
神奈川	2		30 和歌山			46 鹿児島		
山梨			31 鳥取			47 沖縄		
新潟			32 島根					
						合計	27	0

2021 年国民平和進行 コロナ禍でも各地で反核をアピール

6月21日(月)、2021年国民平和進行が滋賀県から「京都へ引継集会」に参加しました。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が本日より解除され、蔓延防止法に切り替わった日です。感染防止のため三密を避け、工夫をしながらの集会になりました。

今回は、核兵器拡散防止条約が発効して初めての平和進行であり、職場や地域の関心も高まっています。菅政権は、無為無策を反省することなく、コロナ禍を理由に憲法を改正し戦争をできる国づくりをしようとしています。日本政府は核兵器禁止条約を批准し、世界から核兵器をなくすことをめざすべきです。網の目行進では組合員が多数参加して「核兵器廃絶と平和を守れ」をアピールして行きます。秋には必ず総選挙があります。引き続き、平和と核兵器のない社会をめざす選挙へとつなげていくことが深まる集会となりました。(京都府本部早田書記長)



全国青年部反核キャンペーン2021 核兵器禁止条約署名・折り鶴を集めよう

全国青年部は、今年もコロナ禍の影響で反核トラックキャラバン行動を自粛する代わりに「反核キャンペーン2021」をとりこんでいます。すでに各県本部に協力参加を呼びかけていますが、現在、広島県本部に集まった折り鶴は約1千羽です。

引き続きご協力をお願いします。



福島県本部の仲間が折り鶴を作成中



北信越労職・愛知分会が作成した折り鶴

日本政府は未だに、今年1月に正式に発効された「国連核兵器禁止条約」を批准・署名を実施していません。戦禍で唯一の被爆国に日本が背を向けることは断じて許されません。ヒバクシャ国際署名と日本政府へ条約批准を求める署名の集約にも各地で参加して下さい。